

令和3年度

事業計画書

令和3年4月 1日
令和4年3月31日

小樽商工会議所

基本的な考え方

～若い世代の将来にわたる生活基盤の確立に向けて
「産業振興と観光振興による持続可能なまちづくりを目指す」～

収束が見えない新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大は、我が国において感染症病床や医療スタッフが不足するなど医療体制がひっ迫し、観光産業を中心とする国内経済に大きな影響を与えている。感染防止対策と社会経済活動の両立による経済の回復には、国内でのワクチンの普及や治療薬の開発、本年予定されている東京オリンピック・パラリンピックの開催など今後の動きを注視する必要がある。

道内においては、緊急事態宣言の発出による外出自粛や度重なる飲食業への営業自粛・時短営業の要請、Go To トラベルの全国的な一時停止、外国人観光客の激減による人の往来の減少などで、小樽はもとより道内経済を支えてきた観光産業を中心に幅広い業種に影響が及んでいる。特に、経営体力が弱く、後継者問題を抱える中小・小規模事業者は、事業継続の危機に瀕しており、新型コロナウイルス感染症のさらなる長期化による経済活動や社会活動の停滞は、道内経済全体に深刻な影響をもたらす。

小樽市においては、人口減少がまち全体の活力を低下させており、特に生産年齢人口割合は道内10万人都市の中で最も低い50%台となっている。

こうした状況に加え、中小・小規模事業者における経営者の高齢化や後継者難、働き方改革への対応、長期化するコロナ禍による地域経済の疲弊が重なり、今後、事業規模の縮小や撤退、廃業などが増加し、まちの活力がさらに失われることが懸念されることから、効果的な地域振興策をオール小樽で推進し、地域力を取り戻すことが喫緊の課題である。

かかる中、当所では、コロナ禍で懸命に経営努力を続ける中小・小規模事業者の支援に向けて、行政と一体となり国に対して支援強化を求めるとともに、雇用維持や事業継続など安定的かつ持続的な経営に向けて、リモート会議やWEBによる経営相談といったICT化の推進など、コロナ禍における様々な環境変化に対応できるよう相談指導体制を整えながら支援を強化する。

また、with コロナにおける観光戦略が求められる中、持続可能なまちづくりに向けて、「地域資源を活かした産業振興と裾野の広い観光振興」をテーマに、日本銀行旧小樽支店の重要文化財指定など歴史的まちなみ保全に向けた事業を推進する「歴史まちづくりプロジェクト」、駅前広場と駅前第1ビルの一体的再開発を検討する「まちの魅力向上プロジェクト」、第3号ふ頭基部及び周辺地域の賑わいづくりを推進する「みなと観光プロ

ジェクト」、「小樽美人」や「にしん小樽漬」のブランド化推進や、「知産志食しりべし」のもと後志の地場産品の普及啓発を推進する「1次・2次産業振興プロジェクト」を継続するとともに、小樽を代表する景勝地であるオタモイ地区の開発事業を推進し、小樽の強みを活かした観光を基軸に据えたまちづくりを積極的に推進していく。

さらに、小樽の歴史的遺産であり第3号ふ頭と北運河エリアとの回遊性を高めるランドマークとして重要な北海製罐(株)小樽工場第3倉庫の保全・活用に向けた検討を、各種団体等と連携しながら進める。

小樽のまちの再生に重要な社会資本となる北海道新幹線については、官民の連携を強化して、二次交通のあり方や全便停車の必然性を高める戦略を検討する。

また、経営発達支援計画に基づき、販路開拓・拡大やBCP計画の策定など伴走型支援を通じた小規模事業者の安定的な経営基盤の確立や創業支援、事業承継相談等を通じた後継者不在による廃業の抑制に取り組む。

さらに、部会や企業訪問を通じ、会員ニーズに即した能動的な事業展開に努めるとともに、青年部、女性会活動の推進、会員増強、小樽経済センターの利用率向上等を通じて財政基盤の強化に努める。

コロナ禍が続く環境下において、中小・小規模事業者がこれまでにない厳しい経営環境に直面することが考えられる中、小樽の活力を取り戻すため、経済活動が人を呼び込む好循環を目指し、中小・小規模事業者とともに歩む「未来を拓く商工会議所」として、次に掲げる諸事業を積極的に推進する。

【令和3年度重要施策】

コロナ禍における中小・小規模事業者の経営安定に向けた支援の強化

地域経済を支える中小・小規模事業者がコロナ禍により、極めて厳しい経営環境に置かれる中、行政と一体となって国に対して中小・小規模事業者支援強化を求めるとともに、雇用維持や事業継続など、安定的かつ持続的な経営に向けて、リモート会議やWEBによる経営相談など、コロナ禍における環境変化に対応できるよう、様々な方策を活用しながら、事業者とともに課題解決を図る伴走型支援を強化します。

地域課題解決に向けた政策提言・要望活動の展開と商工会議所自らの実践

小樽駅前広場と駅前第一ビルの一体的整備や北海道新幹線新小樽（仮称）駅周辺地区の戦略的活用策、小樽港第3号ふ頭及び基部の「みなと観光」としての整備、北海製罐小樽工場第3倉庫の保全など、小樽が抱える喫緊の課題解決に向けた要望活動を積極的に展開するとともに、商工会議所自らも課題解決に積極的に取り組みます。

持続可能なまちづくりに向けたプロジェクト活動の展開

「地域資源を活かした産業振興と裾野の広い観光振興による持続可能なまちづくり」をテーマに、プロジェクト（「1次・2次産業振興」「みなと観光」「まちの魅力向上」「歴史まちづくり」）を展開するほか、オタモイ地区の開発事業の推進など、小樽の強みである観光を基軸に据えたまちづくりを目指します。

地域経済の縮小を防ぐ創業支援・事業承継支援の強化

事業所の減少や事業規模の縮小により「まち」の活力が失われることがないように、ワンストップ相談窓口による創業支援・事業承継支援を強化し、若い世代の将来にわたる小樽での生活基盤の確立を目指します。

第1 政策提言並びに要望活動

重点項目

- 1 コロナ禍における中小・小規模事業者の支援強化
- 2 コロナ禍における戦略的な観光の推進
- 3 駅前広場と交通アクセス拠点を含めた駅前第1ビルの一体的な整備と再開発に必要な計画の早期策定
- 4 歴史的まちなみの保全
- 5 北海道新幹線新小樽（仮称）駅周辺地区の戦略的活用策の検討
- 6 親水施設や交流施設等「みなと観光」に資する小樽港の整備等港湾予算の確保
- 7 廃業抑制に向けた行政、金融機関等との連携強化

新規

- 8 北海製罐小樽工場第3倉庫の保全・活用
- 9 女性や高齢者の就労機会の創出・増大に向けた支援の強化

新規

- 10 産婦人科診療体制の充実と「地域周産期母子医療センター」の早期再開
- 11 公共施設再編の着実な実施
- 12 市内商店街事業への積極的な支援
- 13 地元企業への優先発注の促進

継続項目

- 1 経済政策に関する提言・要望
 - (1) 景気対策に関する事項
 - (2) 中小企業対策に関する事項
 - (3) 産業振興に関する事項
 - (4) 金融政策に関する事項
 - (5) 税制改正に関する事項
 - (6) 地域開発に関する事項
 - (7) 雇用労働対策に関する事項

2 地域経済の振興に関する提言・要望

- (1) 北海道新幹線札幌までの早期開業
- (2) 北海道横断自動車道黒松内～小樽間の建設促進
- (3) 国道5号塩谷防災の早期整備
- (4) 札幌刑務所小樽拘置支所の早期建替
- (5) 後志総合振興局小樽商工労働事務所の機能維持
- (6) 札幌自動車道の冬季間通行円滑化等交通機能の向上
- (7) JR札幌～小樽間快速列車等の運行拡充
- (8) 移住・交流推進事業の促進
- (9) 北しりべし定住自立圏共生ビジョンの促進
- (10) 企業立地支援制度の充実

第2 中小企業の育成振興

1 相談指導事業の実施

- (1) 金融・税務・経営・労務等に関する相談、指導（WEB相談等）
- (2) 小規模事業者経営改善資金制度の推進と効果的運用
- (3) 記帳指導員による記帳継続指導
- (4) 小規模企業共済制度、倒産防止共済制度の普及、加入促進
- (5) 知的財産権・法律等専門家による個別相談会の開催
- (6) 経営安定特別相談室の運営
- (7) 制度改正に伴う専門家派遣等事業の実施

2 地域産業の育成強化

- (1) 各種経済動向調査の実施
- (2) 伝統的技能の継承と異業種交流の促進
- (3) 商取引の斡旋及び業者照会
- (4) 各種証明書の発行
- (5) イベント事業の開催、後援

3 「小樽市中小企業振興基本条例」の活用

4 経営発達支援事業の推進

- (1) 持続的経営計画の策定支援
- (2) 事業継続計画（BCP）の策定支援
- (3) 商品開発・販路拡大支援
- (4) 経営発達支援計画の推進
- (5) 事業承継相談事業の推進

5 創業支援サポート連携事業の推進

- (1) 起業家育成の啓発
- (2) 創業等に関するワンストップ相談窓口の推進
- (3) 創業者フォローアップの実施

6 人材育成事業の推進

- (1) 各種講習会・講演会の開催、後援
- (2) 各種検定試験等の実施と受験者の拡充
- (3) 新入社員合同入社式の開催
- (4) 優良従業員表彰式の開催

7 キャリア教育の推進

- (1) インターンシップ事業への協力
- (2) 大学等教育機関との連携推進
- (3) 若年者が地元に着定するための環境の整備の検討
- (4) 女性や高齢者の雇用機会、社会進出への支援検討

第3 プロジェクト活動の推進

新規

1 特別委員会によるオタモイ地区開発事業の推進

2 1次・2次産業振興プロジェクト

- (1) 「知産志食しりべし」普及啓発
- (2) ブランド化推進（にしん小樽漬・小樽美人浸透拡大、新商品開発）

3 みなと観光プロジェクト

- (1) 第3号ふ頭基部及び周辺地域の賑わいづくりに向けた事業の推進

4 歴史まちづくりプロジェクト

新規

- (1) 日本銀行旧小樽支店の重要文化財指定など歴史的まちなみ保全に向けた事業の推進

5 まちの魅力向上プロジェクト

- (1) 小樽駅前広場と駅前第一ビルの一体的整備に向けた検討

6 人口減少対策アクションプランの推進

第4 地球環境・エネルギー対策の促進

- 1 容器包装リサイクル制度の普及、推進
- 2 北海道環境マネジメントシステムスタンダード（HES）の普及、支援
- 3 環境保全とリサイクル運動の促進
- 4 環境問題に関する調査・研究
- 5 環境ビジネスの研究
- 6 自然エネルギーに関する調査・研究

第5 商店街等の振興促進

- 1 市内買物運動の推進
- 2 中心商店街活性化戦略の推進
- 3 空き店舗調査の実施と調査結果の活用
- 4 国等の商業振興施策の周知と活用の促進

第6 都市機能整備の促進

- 1 都市基盤整備の促進

- (1) 小樽駅前地区市街地の整備
- (2) 北海道新幹線新小樽(仮称)駅周辺地区の整備
- (3) 南小樽駅の駅舎改築及び周辺地区整備の調査・研究
- (4) 銭函駅周辺地域の市街地整備の調査・研究
- (5) 北運河地区、第3号ふ頭周辺地区、旧国鉄手宮線の一体的な活用の促進
- (6) 地域公共交通ネットワークのあり方の検討

2 港湾機能整備の促進

- (1) 小樽港と石狩湾新港の振興策の検討
- (2) フェリー利用促進・貨物増加策の検討
- (3) コンテナ航路の拡充
- (4) クルーズ船対応など人流機能の整備
- (5) 小樽港のポートセールス強化
- (6) 日本海沿岸地域との航路強化
- (7) 日ロフェリー定期航路の再開

第7 観光都市機能の充実

- 1 小樽観光戦略構想の推進
- 2 国内外観光客の誘致と受入態勢の強化
- 3 滞在型・時間消費型観光の促進
- 4 広域観光の強化と連携促進
- 5 大型クルーズ客船の誘致
- 6 統合型リゾートの調査・研究
- 7 おたる潮まつり、小樽雪あかりの路等への協力
- 8 諸大会の誘致・宣伝活動の促進
- 9 歴史的街並み、都市景観の保全整備並びに歴史的建造物活用の促進

新規

- (1) 北海製罐小樽工場第3倉庫の保全・活用策の検討
- 10 ふれあい観光大使制度及び小樽観光大学校への協力
- 11 日本遺産を通じた地域活性化の推進
- 12 小樽版DMOの推進

- 1 3 観光振興のための財源確保の検討（観光税等）
- 1 4 NPO法人OBM活動に対する支援・協力

第8 経済・文化交流の推進

- 1 姉妹都市等との経済・文化交流の推進
 - (1) ロシア：ナホトカ市（S41.9.12）
 - (2) ニュージーランド：ダニーデン（S55.7.25）
 - (3) 韓国：江西区（H22.7.22）小樽日韓友好親善協会
 - (4) 台湾：小樽日台親善協会
- 2 東アジア及び東南アジア圏との経済交流の推進
- 3 海外展開支援体制の強化

第9 会員・各種サービス事業の充実

- 1 会員交流ボウリング大会の開催
- 2 会員交流ゴルフ大会の開催
- 3 会報「SEA PORT WALTZ」の発行
- 4 講演会の開催
- 5 共済制度の普及
- 6 ビジネス総合保険制度の普及
- 7 労働保険事務組合の運営
- 8 優待サービス事業の拡充
- 9 おもてなしギフトショップの推進

第10 会議所運営の強化

- 1 会議の開催
 - (1) 議員総会
 - (2) 常議員会
 - (3) 委員会

- (4) 部会、分科会
- (5) 正副会頭会議

2 会議所機能の強化

- (1) 会員増強活動の推進と財政基盤の強化
- (2) 部会役員懇談会の開催
- (3) 部会交流会の開催
- (4) 広報活動の充実、強化
- (5) 委員会と部会との連携強化
- (6) 小樽経済センター活用の推進
- (7) 青年部活動の推進
- (8) 女性会活動の推進
- (9) 市、議会、他団体等との連携推進
- (10) コンプライアンス（法令遵守）への取り組み

3 当所に事務局のある団体の運営及び連携

- (1) 自衛隊小樽協力会
- (2) 小樽警察官友の会
- (3) 小樽日韓友好親善協会
- (4) 小樽日台親善協会
- (5) 日本珠算連盟小樽支部
- (6) 北海道新幹線建設促進小樽期成会
- (7) 小樽国際観光リゾート推進協議会
- (8) 小樽青色申告会連合会
- (9) 小樽間税会
- (10) 小樽発明協会